令和３年度　公益社団法人 静岡県作業療法士会　第４回理事会議事録

１．開催日時　令和３年10月９日（土）　午後１時00分～18時00分

２．開催場所　コロナウイルス感染対策のためZOOMにて開催．一部事務局にてリモート形式で参集.

３．出席者（順不同）

理事総数　15名
出席理事　14名　定足数を満たすため理事会は成立
代表理事　岡庭 隆門（議長）
理　　事　村岡 健史　川口 恭子　武内 元　秋山 尚也　加納　彰　大塚 昭宏
藤田 さより　伊井 玄　斎藤 洋平　建木　健　生田 純一　大石 裕也
稲葉 洋介
監　　事　小笠原 誠　秋山 恭延
事 務 局　市川 志帆　大庭 俊裕　髙岡 留美

４．決議事項

第１号議案　規約検討委員会より検討・提案事項
第２号議案　下半期事業計画修正案について（各部からの計画修正）
第３号議案　財務部より検討事項
第４号議案　その他（各部局からの決議事項）

５．報告事項

報告第１号　第34回静岡県作業療法学会報告及び第35回静岡県作業療法学会進捗報告
報告第２号　47委員会報告
報告第３号　各部局・ＷＧ報告
報告第４号　その他

６．開会

事務局が定数を満たしていることを報告し、議長は本会が成立していることを宣言した。

７．議事の経過要領及びその結果（決議事項）

第１号議案　規約検討委員会より検討・提案事項

１）静岡県作業療法士会の感染状況に応じた活動・行動制限指標
指標に沿って各部局にて運営を検討し、必要があれば理事会で検討する。
→承認

２）学会運営規程
今後、別表の作成し実状と合わせていく。

３）口座管理規程
会計マニュアルを元に規程を作成した。
→承認

４）賛助会員規程
金額を 2 万円に見直した。会費の改定は社員総会の議決が必要である為、それまでは既存の規程を運用する。人間作業モデルのホームページ掲載依頼があり、賛助会員の案内をする。
→承認

第２号議案　下半期事業計画修正案について（各部からの計画修正）

１）2021年度補正予算・上半期事業計画
5部局から申請あり496,118円の減額。地域事業部から未提出だが合計し100万円程度減額予定。
→補正修正案承認。

２）会費
参加費の減額は継続。間接的に会員に還元されるように積立金やシステムの導入に充てる。
日当支払い（300万程度）を見込み、短期的に還元しない方が良いか。（小笠原）
監事監査より収支は精度が高まっている。予算執行状況の確認。（秋山監事）
現在の施行率は0～45％を推移し低い状況。（川口）

第３号議案　財務部より検討事項
３）業務管理簿
時給 1000 円と計算すると 300 万円の試算。
業務管理簿に載せる業務内容の検討が必要。
→財務部にていくつかの基準で案を作成し、理事会で議論を継続する。承認。
４）領収書
領収書の発行は原則しない。やむを得ない場合に使用するものを作成した。
→承認。
第４号議案　その他（各部局からの決議事項）
１）学術部
（１）認知症の人と家族の会の賛助会員入会について
・現状では会員が個人登録をしている。他の班についても同様の案件があるのではないか？（生田）
・任意団体は会費の収入で成り立っているため、公益法人としては協力したい。（岡庭）
・各団体への賛助会員加入に関する承認に関し、規程・規約が必要となる。（岡庭）
・ルールに則って判断する根拠は必要。（秋山監事）
→認知症の人と家族の会の賛助団体に関しては承認。
規程については、規約検討委員会で作成・整備、それまでは理事会にて審議。
（２）メーリングリストへの部長の登録について
・部長の登録は必要だと思うが、理事と部長のコミュニケーションが滞らないよう注意が必要。
SNS などの積極的利用も検討していくべき。（大石）
・部長には一律に理事メールに加入していただいてはどうか？（岡庭）
・運用しやすく廃れない SNS の運用を検討して欲しい。（岡庭）
→部長の登録を承認。総務部にて管理。
次回理事会までに村岡副会長、大石理事を中心にメーリングリスト以外の情報ツール、SNS の検討を進めていく。
２）教育部
（１）入会未登録者への対応
・新人オリエンテーション参加者で、未加入者が７名いた。研修会内ではアナウンスしているが、７月末、という伝え方はしていない。昨年度は 0 だった。（秋山理事）
・猶予を設けるか、速やかに処理をするか。（岡庭）
・今回に限り、電話連絡をし、月末までの猶予としたい。（秋山理事）
・直接の電話が出来る人数。意思表示の確認をしたうえで、申請処理をしてはどうか。（秋山監事）
・期間を短くしてはどうか。他の会員への悪影響もある。（建木）
・他会員からの問い合わせもあるため、短期間で対応してもらうよう伝える。（秋山理事）
・期限に間に合わない場合は、再受講となるのか？（村岡）
・原則的には再受講となる。（秋山理事）
→電話連絡の上、短期間（1 週間程度）の猶予を設けて対応することで承認
３）広報部
（１）HP 上アンケートについて
・実装が完了。広報部から簡単なアンケートを実施後、各部局での運用に繋げる。
周知がされていない現状で、回答率を上げるために回答者にノベルティを進呈したい。
郵送は会報誌と同封する方法で、別途費用が掛からないようにする予定。
単価：クリアファイル１０円程度、ボールペン１００円弱、下敷きが一番高価。（大石）
・各部局で積極的に活用して頂ければ良い。（岡庭）
→承認
４）福利部
（１）リーダー育成研修会について
・年度当初は宿泊研修を企画。現況から、今年度は開催見送りとしたい。
各地区タウンミーティングも未実施な状況。併せて見送りとしたい。（齊藤）
・福利部事業については、web での開催に力を注いでほしい。（岡庭）
→承認
5）地域事業部
（１）今年度事業について
・各種地域イベントが全て中止となった。リモート公開講座を企画しているが、難渋している。

ボッチャの杉村選手に依頼をしたい。可能であれば、YouTube 配信も行いたい。（建木）
・ハイブリッド開催は可能か？（武内）
・費用や労力を考えると、YouTube が簡易だが、対面開催を望む声も多い。
講師料について、上限など検討をして欲しい。（建木）
・現在の講師料規程はあくまで対専門家のもの。著名人やメダリストであれば、枠を広げた対応を検討するべきか。（岡庭）
・先方の希望額として、具体的には５万円程度と推測している。（建木）
・根拠はないが、１０万位ではないか、と思う。（秋山監事）
・情報収集の上、公益事業として費用を配布してもらって構わない。（岡庭）
→実施する方向で承認
（２）（一社）ここみ広場からの作業療法士派遣依頼について
・発達障害児の相談業務を市の委託で行っている団体。協力してくれる OT を探している。（建木）
・フリーランスに声をかけることが良いか？まずは情報収集からが望ましいか。（小笠原）
→職能団体への依頼、という手続きを踏んでもらうことで承認
６）地域包括ケアシステム推進委員会
（１）圏域代表者の選出について
・各圏域の代表者を選任。伊東・熱海圏域を代表鈴木晶子氏、副代表鈴木嘉子氏に依頼したい。
まだ選任できていない圏域も複数。
→承認
７）表彰委員会
（１）県士会表彰の推薦候補者について
・前回理事会での候補者に打診し、全員から内諾を得た。広報自粛の希望をされる候補者もおられた。希望者以外は、年度末の広報誌で紹介と表彰、記念品の贈呈を行う。（岡庭）
・広報自粛は、他の会員から疑念が沸かないか？（建木）
・表彰は会への貢献に基づいたもの。自粛の申し出は尊重しつつも表彰はすべき。（秋山監事）
・表彰は敬意を本人に示すものなので、希望通りで良いのではないか。（稲葉）
・本人の希望を尊重してよいのではないか。（小笠原）
・タイミングを見計らってはどうか。（齊藤）
→自粛希望者には理事会での検討内容を伝えた上で、自粛した形についても承認
８）訪問リハビリテーション連絡委員会
（１）実務者研修会の広報について
・チラシの発送を依頼されたが、広報誌とタイミングが合わず施設ごとに送付した。ほか、ホームページやメールでの広報をお願いしたい。（齊藤）
・研修会でのポイント付与について、2 日間だが時間は短い。4 ポイント配賦で良いか？（齊藤）
・問題ない。（秋山理事）
→承認
９）事務局
（１）各種後援に関する承認依頼
→承認
１０）総務部
（１）委託運転に関する提出書類について
・小笠原監事より確認依頼があり、小田巻氏に確認。内部運用で良いが、確認は必要で、委託運転をする場合の責任ある体制の整備の提案があった。
県士会として、書類の提出や管理について、どのように運用するか、運転免許書と車検証を求めるべきか、求めた場合の提出方法・管理方法、会員誰もが対象の保険に加入するか検討したい。（武内）
・現状に加えて書類の確認が必要ということが前提。案作りに動くということを審議する。（岡庭）
・事前の承諾と署名など、出来る形で進めて頂ければ。（小笠原）
→承認
１１）シズケア架け橋
（１）報告会に関して
・内容が医師会と重複してしまうため、合同開催の打診があった。普及啓発が県士会の担当。2 部構成として、医師会と連携し進めていきたい。（加納）
→承認

１２）監事からの注意喚起
研修会参加費の返金がある。5～6 名に対し、100 円の返金を手数料 400 円かけて手続きしている。
間違いがないように周知を図って欲しい。

８．報告事項
報告第１号　第 34 回静岡県作業療法学会報告及び第 35 回静岡県作業療法学会進捗報告
１）第 34 回静岡県作業療法学会報告（伊井）
（１）会計報告
・メーリングリストで承認をいただいたが、開催報告の発送後、固定費の請求が届き、出納帳に追記した。業者への支払いが翌月払いだったため、遅延してしまった。
２）第 35 回静岡県作業療法学会進捗報告（稲葉）
（１）開催要項
・対面とリモートのハイブリッド形式での開催を進めている。
ホームページを作成し、随時情報更新している。
公開講座については、講師に打診中。現状で反応はない。
演題募集開始。具体的なプログラムの立案をしている。編集部も進捗中。
各種研修会の休憩時間に上映できる動画を作成。
今後、後援依頼など順次進めている。
報告第２号　47 委員会報告（岡庭）
１）全体報告
・各事業にて、意見交換が実施された。広報部会など、今後実施される予定
報告第３号　各部局・ＷＧ報告
１）財務部（川口）
（１）領収書について
・チラシ作成時に、振込明細が領収書変わりとなることを徹底してアナウンスするよう、お願いしたい。
（２）口座名義変更
・実施済み
（３）業務管理簿について
・今後も実施して頂きたい
（４）小田巻氏への確認事項
・最低賃金の確認、月ごとの管理について指摘あり。２月を目途に支払い。
・個人のカード使用について少額であれば問題ない。極力、支払い窓口は減らして対応をする。
（５）四半期決済について
・明日〆切。２０日の財務部会議で執行率を確認。以降、順次進めていく。
（６）財務部会議
・定期実施。
２）学術部（生田）
（１）各地区活動
（２）高次脳・モビリティ班
・モビリティマネジメント研修会実施。
（３）精神障害班
・研修会実施。次回研修会参加者募集中。
・自立支援協議会地域移行部会へ参加。
（４）発達領域班
・web 研修を予定。啓発活動は中止。人材育成研修は企画中。
（５）認知症班
・アップデート研修およびステップアップ研修を開催予定。
（６）組織整備
（７）コロナ対応
・開催基準を整備。県士会の基準が提示されるまで内部規定で運用する。
※学術部内で日程が重複しているため、今後は事前に調整をする。

３）教育部
（１）生涯教育手帳について（秋山理事）
・サーバートラブルを理由に 10 月 9 日まで移行期間が延長された。
（２）各種生涯教育研修会の実施。（秋山理事）
・緊急事態宣言に伴い、web 研修会を実施。
・現職者選択研修会の開催。全国に広報し、９名の県外参加者がいた。
（３）今後の研修会（秋山理事）
・現職者共通研修、事例報告会などを予定通り随時実施。
（４）生涯教育会議（秋山理事）
・理事と部長で出席予定。
（５）臨床実習指導者講習会（村岡）
・第２回は１００名を超える申し込みだったが、１００名で〆切。
大規模ミーティングの切り替え依頼をお願いしたい。
・第３回の開催は４日間の予定だったが、通常開催に変更
子育て世代優先で３０名程度の枠組みで実施したい。
・研修会の休憩時間に上映する動画があれば、お声掛けください。
（６）MTDLP 研修会（稲葉）
・基礎研修会を開催。以降も研修会を開催予定。
・研修会参加に関する領収書の不手際について、役員で周知。
・体調不良者があったが、参加費の返金はなかった。
（７）キャンセルポリシーについて（稲葉）
会員への周知方法を検討したい
キャンセルポリシーは理事会にて承認済み。（川口）
HP への掲載は不適切な印象。各種研修会で周知をお願いしたい。（大石）
※地区メールの運用についても今後検討が必要。
４）広報部（大石）
（１）各種広報活動実施
・会報誌編集
・ホームページ更新　など
各部での編集は可能か？（村岡）
エラー発生の可能性があるため、広報部経由でお願いしたい。（大石）
５）渉外部（岡庭）
（１）渉外活動
・９月、１０月の渉外活動について報告。Web が中心。
６）福利部（齊藤）
（１）福利部会議、OT トーク
・OT トークは各種研修会後に 2 回開催。今後も各種研修会後に開催を打診予定。
７）各地区
（１）西部（藤田）
・情報配信 4 件
（２）東部（川口）
・情報配信 10 件
８）地域事業部（建木）
（１）各種地域活動について
・ほとんどが中止。
・清流館高校、小学校出前講座を予定。
９）制度対策部（生田）
（１）研修会開催について
・研修会開催を予定。基地局は中伊豆リハセンターで開催予定。
（２）体制整備
・部員等体制を整備。
（３）診療報酬改定について
・随時、情報配信。

１０）地域包括ケアシステム推進委員会（加納）
（１）ウェブ研修会開催
・９月に実施。今後も開催予定。制度対策部と連携していく。
（２）委員の顔合わせ会
・情報共有を中心に、体制づくりについて検討予定。
（３）認知症に関わるアンケート
・学術部認知症班と情報共有。
（４）動画作成について
・コロナ禍にあり、状況を鑑みて進めていく。
１１）災害対策委員会（村岡）
（１）熱海被災支援について
・支援終了報告書作成。
（２）OT 協会災害趣味レーション
・５６名の体験者。
（３）災害リハビリテーション研修会
・１２月１１日開催。
（４）東海北陸 PT 学会
・熱海被災支援についてシンポジストとして出席予定。
１２）訪問リハ連絡委員会（齊藤）
（１）今年度研修会について
・計画通り研修会を開催予定。
（２）アクションプランの依頼について
・担当者中心に作成し提出する。
１３）生活環境支援推進室（福祉用具）
（１）生活行為工夫情報モデル事業
・会議開催。
１４）事務局（武内）
（１）新規入会者：１９名
→承認
（２）未納者確認
臨床実習指導者研修会で４名ほど未納者として参加する。（村岡）
１５）総務部（武内）
（１）zoom 利用申請：２８件
（２）会費納入のコンビニ決済について
・手数料の増額
（３）備品について
・学会物品は確認し、処分品をピックアップ。PC は年末に業者委託予定。
・グーグルフォームにて、備品登録をお願いしたい。
（４）理事会資料について
・審議事項、報告事項の順にお願いしたい。
１６）規約検討委員会
（１）ホームページ研修会掲載規程（伊井）
（２）キャンセルポリシー
メーリングリストで部長・会計担当者に周知する。
１７）リハビリテーション専門職団体協議会　地域包括ケア推進委員会
（１）研修会開催
・オンデマンドで課題提出する方法で準備。
・熱海災害支援について、今後は協議会として推進委員を活用する予定。
・厚労省助成金事業から依頼あり。
１８）シズケアかけはし事業報告
・進捗について報告。
・調査事業はモデル事業とリンクして進行中。
・パソコン借用手順に沿って３台借用したいが、同日に教育部の研修会開催予定の為、要調整。

報告第４号　その他

１）静岡県作業療法連盟について

（１）会議開催

・今後の連名活動について意見交換。３団体で活動していきたい、と PT 連盟から依頼有り。
PT は議員を出すことが目的。OT は要望を挙げることが目的で、立ち位置が違う。

・次年度以降の人事について、検討を進めている。

９．令和３年度　第５回理事会（候補日）：12 月 4 日（土）・5 日（日）・19 日（日）

議事録作成者：大庭俊裕・市川志帆